

第三章

第四節

世界初の全身麻酔は日本から

～華岡青洲を支えた母・妻の献身的協力～

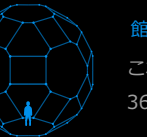
当時の外科手術にはまだ麻酔ますいの技術はなく、痛みをこらえて患部を切るという残酷なものでした。蘭学を学んだ外科医「華岡青洲はなおかせいしゅう」は、乳がん手術には全身麻酔が必須だと悟ります。20年の歳月をかけて薬草による麻酔を独自に研究し、1804年、世界にまだ例がなかった全身麻酔手術を成功させました。

成功に至るまでには、青洲の研究に協力した母の死、妻の失明という大きな犠牲ぎせいがありました。それはまさに、いのちと向き合った壮絶な戦いでした。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.